



校長室の窓から

想像する そして語り継ぐ

校長 松井 裕次

東日本大震災

5年9ヶ月前、東日本大震災が起こった。M9.0の激震は大地を揺るがし、10～40mと言われる津波は、瞬時に人々の命と暮らしを呑みこんだ。世界中の人々を震撼させ、言葉を失わせた。今なお震災を忘れてくても忘れられない人たち、ふるさとに戻れない多くの人たちがいる。明治以降に東北を襲った津波には、三陸大津波（明治29年、昭和8年）がある。

今年4月には、熊本地震（M7.3）が起こった。実は熊本でも127年前（明治22年）の夏に、5日間で2度の大地震（M6.3）が起こり、5ヶ月間も余震が収まらなかったと言われている。人間は良くないことは忘れて、気持ちの切り替えや立て直しができる動物だ。しかし、震災の記憶だけは語り継いでいかなければならない。「天変地異はいつどこで遭遇するか分からない。自然の驚異は人知を超えている」だけでは済まされない。私たちは高校生の若い感受性を信じている。震災の事実を正面から受けとめ、真の復興と防災のために、人間が何ができるかを考えてほしい。

これまで、いわき市で3回の震災・復興学習を実施してきた。フラダンスチームで有名な宿泊先の「ホテルハワイアン」は、いわき市を支える企業であり、人々の復興への活力を感じ取ることができた。講話では、混乱の中での壮絶な体験、被災者の切実な思い、福島への誇りと底力をお聞きすることができた。また、薄磯地区では、海原から押し寄せた未曾有の大津波を岩山の高さから想像し、すべてを奪われた人気（ひとけ）のない町に、立ちつくしたのだった。感受性豊かな生徒たちは涙を浮かべていた。一番大切な、いわき総合高校との交流では、未来を見据えている同世代の言葉や表情に、逆に勇気を貰ったような気がした。何物にも代え難いこれらの貴重な体験が、本校の生徒たちを大きく成長させてきたのは間違いない。

今年度、出発2週間前の1月22日、福島県沖地震（M7.3）が発生し、いわき市でも震度5弱の揺れが観測された。テレビでは小名浜の映像が何度も流れ、「津波が来ます。高い場所へ逃げてください！」とアナウンサーが連呼していた。早速、日程の調整をお願いし、海の近くを避けるプランを練り直したが、その後も余震は収まらない。「こんな時だからこそ」という思いはあるのだが、生徒の安全確保を優先して、いわき市訪問を断念することにした。

突然の変更で、交流を楽しみに準備をしていた、両校の生徒に残念な思いをさせてしまった。慰霊碑に捧げる千羽鶴、いわき総合高校に贈る鶴文字「光」、ハワイアンズとまるかつさんへ贈る横断幕は、生徒の思いを込めて、必ず届けたいと思っている。心豊かな生徒たちは想像力でつながっている。交流に向けて準備したもの、震災への思い、伝えなかったこと、継承していくものを大切にして、未来へ生きていくと信じている。

*小名浜まるかつ…毎年、生徒に好評な「焼き魚定食」を出してくれる市場食堂

○第43回長崎県アンサンブルコンテスト『金賞』！そして『県代表』！！

第43回長崎県アンサンブルコンテストが12月18日（日）に諫早文化会館で開催されました。高等学校の部には39校が出場しました。本校からは各校1チームしか出せないため、サクソフーン4重奏（押渕のどか・久田麻綾・山口麻菜美・吉田恵）が出場、持ち前の明るさでさまざまな課題を乗り越えてコンテスト本番では見事な演奏を披露してくれました。結果は『ゴールド金賞！』3年ぶりの九州大会出場を獲得できました。成績発表の瞬間、部員全員の表情は歓喜で溢れていました。

応援くださった先生方、保護者やOB・OGの皆様にご心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。2月12日北九州市小倉のソレイユホールでの九州大会でも良い演奏ができるよう頑張りたいと思います。出場しなかった他の部員達にとってもとても良い刺激となったと思います。これからの吹奏楽祭、定期演奏会も頑張ります。



○1年生が進路研究で「九州大学訪問」

12月8日、1学年は、進路学習（学部・学科研究）の一環として、「総合的な学習の時間」を利用して、九州大学を訪問しました。単一キャンパスでは日本一の広さを誇る九州大学の伊都キャンパスを一学年全員で見学し、大学教授の講義を受講し、キャンパス内を見学しました。

初めて受講する大学の講義の題材は、文系希望生徒が「第二言語の習得」で、理系希望生徒が「水素エネルギー」についてでした。文系生徒は、外国語学習の効率的な進め方を学ぶことができ、理系希望生徒は、エネルギー問題に関する見識を深めることができました。その後学生食堂体験や文系希望生徒が図書館訪問を、理系希望生徒が水素ステーション訪問を行い、知的好奇心を大いに刺激されていました。

【生徒の感想からの抜粋】

- ・図書館が、私が慣れ親しんだものと違い、地下の書庫機能がとてもかっこよかったです。自動書庫や可動式本棚を導入していること自体、私には想像しえなかったことなので驚きました。このような環境で学習をしたくなりました。
- ・第二言語≠外国語ではない場合があることや第一言語と第二言語の習得の違いなど、これまであまり考えたことがないような言語の理論についての話が聞けて、とても楽しかったです。
- ・九大は世界最先端の水素の研究を行っていて、水素社会の具現化を九大からしていくということでした。具体例をあげれば、燃料電池発電システム、熱量電池自動車の導入、さらに再生可能エネルギー+水素を利用したCO₂が完全にでない発電システムを開発されていました。私はこの研究に感動しました。



○ 2年生の「修学旅行」

第2学年（70回生）は、12月6日（火）から3泊4日の日程で修学旅行を実施しました。復興学習を目的として、福島県の高校と交流会を行う予定でしたが、福島県で地震が発生したため、今回は首都圏への修学旅行となりました。

国会議事堂・霞ヶ関・最高裁判所・皇居の見学では、教科書に載っている知識を生きたものとして実感できました。鎌倉では歴史を学び、八景島シーパラダイスでは充実した水族館で自然科学の面白さに触れました。

天候に恵まれ、体調不良者は一人もおらず、急遽決定した研修地を短期間で事前調査してくるなど、70回生のたくましさや瞬発力が発揮された修学旅行となりました。また、社会への視野を広げる大きなきっかけとなりました。

【生徒の感想より】

福島に行けなくなったのはすごく残念でしたが、「被災地に生きる方々のことを学び、共生のあり方について考える」という修学旅行の目的の一つにあるように、被災地の方々を思いながら4日間を過ごしました。東日本大震災の時に、福島の高校生は修学旅行に行けなかっただろうと思うと胸が痛くなり、自分が今こうして修学旅行へ行けたこと、無事に帰ってこられたのは当たり前ではないことなのだと感じました。

クラス別研修で訪れた明治大学では、大学に関して理解を深めることができました。九大や長大とはまた違う都会の雰囲気でした。～略～

この修学旅行ではたくさんの刺激を受け、自分の世界を広げることができました。両親や関わってくださった方に感謝したいです。



皇居二重橋前



東大安田講堂



鎌倉 鶴岡八幡宮

○ 長崎県立大学佐世保校学園祭「鵬祭」にバトン部が参加

こんにちは。バトン部です。11月13日に、長崎県立大学学園祭、鵬祭に出演してきました。ダンスをオリジナルで作ったり、曲を編集したりと、いろいろ大変でしたが、部員10名で協力して頑張りました。当日はとても緊張しましたが、たくさんの保護者の方々の応援や、大学生たちの温かい拍手のなか、最後まで楽しく演技することができました。



○佐南健脚大会

天候にも恵まれ、12月14日（水）に、佐南健脚大会を開催することができました。

今年度は、グラウンド改修工事・防球ネット工事・校舎壁工事と多くの工事が重なり、例年実施している「マラソン大会」に向けての練習ができないことから、今年度だけの「佐南健脚大会」へと内容を変更して実施しました。

コースは従来のマラソン大会のコースを利用し、そのコースを3人から5人のグループを編成して、「走る」・「ジョギングする」・「歩く」といった競技性を持たない大会にしました。体力や能力に応じたグループに分かれて、男子は約11.5km、女子は約8kmのコースを楽しみながら健脚を競っていました。仲間を気遣い支えあう姿も見られ、普段、教室では見ることのできない生徒の表情も見ることができ素晴らしい大会となりました。

また、当日は育友会の皆様に御協力いただき、1・2年生には「応援うどん」を。3年生には「合格うどん」を提供していただきました。朝早くから本当にありがとうございました。おかげで、心も体も温まりました。



○ 大学入試センター試験迫る！

平成29年度大学入試センター試験は、1月14日（土）、15日（日）の2日間の日程で行われます。大学入試センターの発表によると、確定志願者数は575,966人と、前年度より12,198人の増加となるようです。全国のセンター試験参加大学・短期大学数は848大学あり、大学進学においてセンター試験が重要な意味を持つ試験であることは間違いありません。本校からは長崎国際大学を会場に222人がセンター試験に挑みます。大学入試の合否は、各大学の個別試験と併せて決められることになるため、センター試験は決してゴールではありませんが、これまでの努力の成果をいかに発揮し、ベストな結果が出せるよう指導していきたいと思えます。

試験日	出題教科・科目		試験時間
第1日 平成29年 1月14日(土)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40
	国語	「国語」	13:00～14:20
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
第2日 1月15日(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	11:20～12:20
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2科目受験 15:30～17:40 1科目受験 16:40～17:40